

『時事直言』 No.1369 2020年2月10日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[twitter 日本語] [t_masuda2019/](#)

[instagram] [t_masuda2019/](#)

[mail] info@chokugen.com

[twitter 英語] [T_Masuda_eng/](#)

[Youtube] [増田俊男チャンネル/](#)



時事評論家 増田俊男

山頂の上はない！

アメリカの鉱工業景況感の4期連続50割れが経済指標中唯一のマイナス要因であったが、ここへきて50.9に戻った。

先週金曜日に発表された雇用統計も予想の17万人を超える22万人であった。

コロナウイルスでNYダウは1,100ドル以上下げたが私が上げに転じると予測した2月4日から急騰して年初来高値まで戻した。

しかし経済指標が頂点に達し、株価も史上最高値を付けたということは、今後は下がるしかないとも言える。

そこで私は「こころ一番！」の読者と増田俊男の「目からウロコのインターネット・セミナー」の視聴者の皆様に「2月10日から日米株価は調整に入る」とお伝えし、手持ち株は売った方が良く勧めた。

本日は2月10日であるが、200円近い下げで始まっている。

2月6日の本誌で述べた通り、トランプの背後にトランプ支援の強力な仕手集団があり、背後ではFRBパウエル議長と繋がっている。

私は本誌の英語版、Straight from shoulder で「トランプとパウエルは昼間は喧嘩をしているが、夜は同じベッドで寝ている」と茶化し、FRBがトランプの為に株高政策を採っていると述べた。

大統領選の11月までにNYダウを私が言う4万ドルまで上げるには、ここから大きく調整をする必要がある。

その為には理由が必要であったが、タイムリーに起こったコロナウイルスはもっつけの幸いである。

トランプ大統領が中国に同情して、対中関税率を5%下げたのはごもつともであるが実は株価の為である。

今後の市場の成り行きは「こころ一番！」や増田俊男の「目からウロコのインターネット・セミナー」でタイムリーにお伝えすることになっている。

増田俊男の「目からウロコのインターネット・セミナー」大好評配信中！

1ヶ月わずか約¥1,000！ご契約は1年単位になります

現在大好評配信中！「目からウロコのインターネット・セミナー」！視聴期間はお申込み翌月より12ヶ月となりますのでお申込み月は無料でご視聴頂けます。1か月の平均配信回数は4~6回になります。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313、HP：www.chokugen.com）まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313）までお知らせ下さい。